

《履修上の留意事項》遠隔授業のみ実施

《担当者名》森田 美智代（非常勤講師）

【概要】

労働法、社会保険法は、企業等における雇用の場で発生するさまざまな問題を解決するためのルールである。本科目は卒業後、人生における相当の期間を費やす社会人生活に必要な労働法・社会保障制度及び現在の労働市場、雇用環境等を学ぶ。また心の問題を支援する技能を習得するため、職場のハラスメント、過労死防止、企業の安全配慮義務の知識を学ぶ。

【学習目標】

労働法の意義・仕組みを理解すること。  
日本の社会保障制度の具体的内容を理解すること。  
社会人になった時に被害者にも加害者にもならないという意志を持つこと。  
労務関係のトラブルを被った時に自分で法的に検討できるようになること。  
社会における様々なリスクを負った時に冷静に対処できる能力が身につくこと。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	オリエンテーション	授業のオリエンテーション なぜ「働く」のかを考える。 コロナ禍の社会保障	森田 美智代
2	労働法	最低限知っておきたい働くことに関する法律の概要を学ぶ。（労働基準法）	森田 美智代
3	労働法（その他の労働法）	男女雇用機会均等法・最低賃金法・労働安全衛生法・労働契約法・労働者派遣法の概要を学ぶ。 実際にストレスチェックをやってみる。	森田 美智代
4	我が国の社会保障	働く人を守る社会保障とはどんなものがあるのかを知る。	森田 美智代
5	多様な働き方	働き方にはどのようなものがあるのかを学ぶ 非正規労働者の同一労働同一賃金	森田 美智代
6	多様な働き方	「多様な働き方の出来る社会」の実現に向けた政府の取り組みやセーフティネット	森田 美智代
7	賃金とは	我が国の賃金に対する課題 残業代、平均賃金の計算方法を学ぶ	森田 美智代
8	働きすぎと心身の健康	我が国が目指す「働き方改革」を学ぶ。 過労死やうつ病と労働の関係を学ぶ。	森田 美智代
9	ハラスメントとは	ハラスメントの種類と実状を学ぶ。 いくつかのケースを提示し、ハラスメントに当たるか当たらないかを学ぶ。	森田 美智代
10	労働者災害補償保険とは	労災における業務起因性と業務遂行性を学ぶ。 企業の安全配慮義務とは何かを学ぶ。	森田 美智代
11	「働き方改革」関連法とは	働き方改革関連法の概要 ワークライフバランスで何が変わるのかを学ぶ	森田 美智代
12	これからの社会とキャリア	Society5.0を生き抜くためのキャリアを学ぶ アフターコロナを生き抜く力を学ぶ キャリアアンカー診断をやってみる	森田 美智代

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
13	高齢者・障害者・外国人等の雇用	我が国の「ダイバーシティ経営」の実状とこれからの課題を学ぶ。	森田 美智代
14	労働関係を終了するとき	退職と解雇の種類を学ぶ。 労働契約法における解雇権乱用とは何かを学ぶ。 定年規定を学ぶ。	森田 美智代
15	総論（まとめ）	全講義を通じての労働関連法規・社会保障制度を振り返る。	森田 美智代

**【評価方法】**

レポート30%、定期試験70%

レポートは小テスト形式となる場合もある。

解答し提出する事。

**【備考】**

教科書：事前にプリントを配布する。

その他：<https://laborlaw.mhlw.go.jp/>

厚労省学習コンテンツ「今日から使える労働法」に新規登録を推奨

**【学習の準備】**

予習：事前に配布するプリントを読んでおくこと。(30分)

復習：ケーススタディ、グループワーク授業の後は、レポートを作成する。(30分)

**【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】**

・心の問題にかかわる職業人として必要な幅広い教養と専門的知識を修得している。

心の問題にかかわる職能人として必要な幅広い専門知識に労働法・社会保障の専門知識が入ると考えられる。

・社会の様々な分野において、心の問題を評価し、それを適切に判断し援助できる基礎的スキルを修得している。

心の問題を評価し援助する基礎的スキルの一つには、社会のワークルールの知識は不可欠である。実際にクライアントを支援する時にはその知識をアドバイスをするだけで解決することも往々にしてある。

**【実務経験】**

社会保険労務士・キャリアコンサルタント

**【実務経験を活かした教育内容】**

社会保険労務士、キャリアコンサルタントとしての相談業務における必要な技術

実際の労働問題による判例などの講義